

トルコ中銀、市場予想を上回る利上げ幅

ポイント① トルコ中銀が政策金利を25%へ

8月24日、トルコ中央銀行は金融政策決定会合で政策金利である1週間物レポートを17.5%から、市場予想である20%を大きく上回る25%へ引き上げました。大幅利上げを受け、会合後のリラは対米ドルで5%程度上昇しました。また、トルコ中銀はリラ預金を為替相場下落の影響から保護する制度（KKM）の解除の意向を示しており、正常化に向けて従来からの方針転換を進めています。

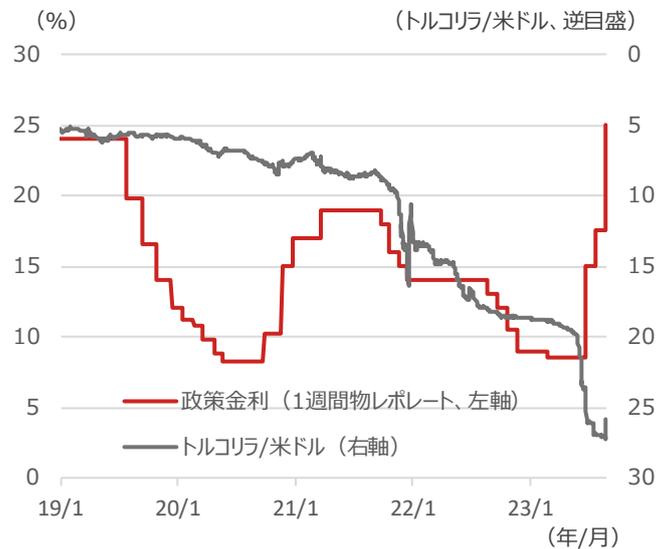
ポイント② 依然実質金利は大幅マイナス

トルコでは利上げを開始し、昨年のピーク時に比べインフレ率が鈍化しているものの、依然実質金利は大幅なマイナスとなっています。こうした状況下で、トルコ中銀は断続的に為替介入を実施してきたものの、リラは下落しました。一方、ブラジルやメキシコはこれまで利上げを継続的に実施し、実質金利をプラスに押し上げた効果か、為替も安定して推移していました。インフレや為替安定のためには、トルコ中銀の目指す水準は実質金利プラスとみられます。

ポイント③ 引き続き注目が集まる金融政策

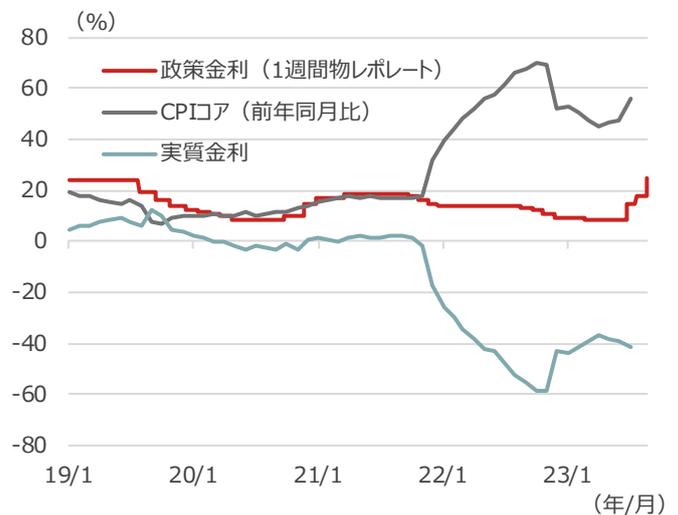
エルドアン大統領は、従来「金利の敵」を自任し、高いインフレ率にも関わらず、低金利政策を志向してきました。一方、トルコ中銀が新体制に刷新され、6月会合以降はインフレ抑制を目的とした利上げ実施に方針を転換しました。6月、7月会合の利上げ幅は市場予想を下回りましたが、8月会合では市場予想を上回る利上げ幅となり、金融引き締めプロセスの継続を明言しました。今後、トルコ中銀はインフレや為替安定のためにどのような手段を講じてくるか、トルコ中銀の動向に注目が集まりそうです。

トルコの政策金利と通貨リラの推移



期間：2019年1月1日～2023年8月24日、日次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

トルコの政策金利、実質金利、CPI (消費者物価指数) コアの推移



期間 (政策金利)：2019年1月1日～2023年8月24日、日次
期間 (CPIコア・実質金利)：2019年1月～2023年7月、月次
※CPIコアは、食品・飲料・エネルギー・タバコ・金を除く
※実質金利は、政策金利-CPIコア (前年同月比)
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

- 9月4日 トルコ消費者物価指数 (8月)
- 9月21日 トルコ金融政策発表